施策 3-1-④　防災教育の推進（住民・子どもたちの意識づくり）

【取組の概要】

災害の経験や教訓を後世に語り継ぎ、住民や子どもたちの防災意識を高め、将来の地域のリーダーを育成するためには、社会教育や学校教育等の様々な場を通した防災教育の取組が重要です。

地方公共団体は、特に子どもたちに対し、一貫した防災教育を推進することが必要です。

【計画、整備にあたっての着眼点・留意点】

・津波に対しては地震の強さと揺れの長さで判断し、すぐに逃げる習慣づけが必要です。

・東日本大震災では、防災教育によって、多くの児童・生徒の命が助けられたといえます。特に、岩手県釜石市では「想定にとらわれない」、「状況下において最善をつくす」、「率先避難者になる」との「避難３原則」の徹底が行われ、多くの児童・生徒が適切な避難行動を行いました。

・防災教育では、学校から家庭へ、家庭から地域へといったように、様々な機会を通して防災の文化を高めていくことが重要です。

・大学などの機関との連携により、防災教育に関するカリキュラムや教材などの作成を行うことは、一貫した防災教育の推進に効果的です。

◆参考資料

・岩手県釜石市津波防災教育のための手引き（釜石市）

http://www.ce.gunma-u.ac.jp/kamaishi_tool/index.html

【事例】

○三重県尾鷲市の取組

・地震・津波防災教育について

・尾鷲市は、各校（小学校７校、中学校２校）において、防災教育担当者を決め、ワーキンググループを組織し、学校の所在地や人口、地形、避難場所・避難経路・訓練内容などの見直し等、様々な情報を交流しながら、学校における防災教育について、討議をすすめています。

・目的として、【～地域の津波特性やリスクの大小に関わらず、市内の小中学校で統一的に使用できる『津波防災教育カリキュラム』の作成を目指す～】を定め、各学校での話し合いをもとに、「尾

鷲市津波防災教育のための手引き」を作成しました。また、各校ごとのリーフレットも作成し、尾鷲市の広報と一緒に地域住民の皆さんへ配布しました。

①群馬大学片田政孝教授・金井昌信助教による講演会

②尾鷲中学校避難訓練（自分で判断して行動する）

・これまでは、教師の指示により避難していたが、今回は休み時間に地震が来たと設定し、『その時、じぶんたちはどう行動するか』をテーマに避難訓練を生徒会主導で行いました。

講演会

尾鷲中学校避難訓練

③津波防災学習

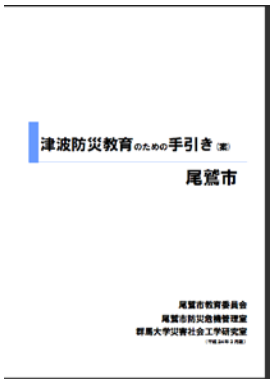
・「津波防災教育のための手引き（案）」（詳細は次頁参照）をもとに、各教科や道徳・総合的な学習の時間を使った授業です。地震や津波に関する知識深め、実際に津波がきた場合にどのように行動すれば良いかを話し合いました。

④タウンウォッチング

・地震や津波が起きたときに危険な場所、安全に避難できる場所について実際に自分たちの通学路を歩いて確認しました。このあと、確認した内容を地図に整理し、防災マップを作成しました。

・尾鷲市津波防災教育のための手引き

・尾鷲市では、巨大津波の襲来に備えて、児童・生徒に『自分の命は自分で守ることのできる知恵』をつけることを目的とした津波防災教育を実践していくことにしています。そこで、尾鷲市教育委員会は市内各校の教員と協力して、以下に示す『津波避難３原則』を踏まえた具体的な教育内容を検討し、『津波防災教育のための手引き』としてまとめ、この手引きを活用し、『海に面した尾鷲市で暮らしていくための姿勢』を与えるための防災教育を実施しています。



【津波避難３原則】

- **想定を信じるな**
  ・・・「相手は自然であって、どのような大きさの津波が来るのかはわからない」
  だから、ハザードマップ等に記された想定津波浸水域を鵜呑みにしないこと
- **最善を尽くせ**
  ・・・「そのとき、できることは、とにかく少しでも安全な場所に避難するだけ」
  だから、予め決めた避難場所に避難して、そこで安心することなく、もっと安全な場所まで避難することができるのであれば、そこまで避難すること
- **率先して避難せよ**
  ・・・「いざというとき、人間は簡単には避難することができない」
  だから、まず自分が率先して避難できるように、日頃から準備しておくこと
  誰かが避難すれば、それが周りの人の避難を促すことにつながります

・小学校高学年では、「津波てんでんこ」を学習します。

学習項目		Ⅰ 対処行動を知る	Ⅱ 地震・津波を知る	Ⅲ 地域の津波被害を考える
3.1 小学校低学年	(1) 避難の必要性を知ろう【てんでんこ 1】	○		
	(2) 津波の速さと流れの強さを知ろう		○	
	(3) 防災マップづくり【1】	○		
3.2 小学校中学年	(1) いろいろな避難場所を知ろう【てんでんこ 2】	○		
	(2) 地震から身を守る方法を知ろう	○		
	(3) 防災マップづくり【2】	○		
	(4) 津波と普通の波の違いを知ろう		○	
	(5) 地震・津波のおき方を知ろう		○	
	(6) 過去の津波被害を知ろう			○
	(7) 津波から地域を守る対策を知ろう【1】			○
3.3 小学校高学年	(1) 率先避難者になろう	○		
	(2) 津波てんでんこを理解しよう【てんでんこ 3】	○		
	(3) 津波避難の３原則を理解しよう	○		
	(4) 防災マップづくり【3】	○		
	(5) 津波の様々な特徴を知ろう【1】		○	
	(6) 津波の様々な特徴を知ろう【2】		○	
	(7) 津波から地域を守る対策を知ろう【2】			○
3.4 中学校	(1) 小学校の総復習	○	○	○
	(2) 避難できない人間の心理を理解しよう	○		
	(3) 地震の揺れの特徴を理解しよう		○	
	(4) 避難後の行動を考えよう【1】			○
	(5) 避難後の行動を考えよう【2】			○
	(6) 語り継ぐ責任	○		

出典:「尾鷲市津波防災教育のための手引き」(尾鷲市 HP)
http://dsel.ce.gunma-u.ac.jp/owase_tool/cont-01/c1-index.html
「尾鷲市津波防災教育のための手引き(案)」(尾鷲市教育委員会、尾鷲市防災危機管理室、群馬大学災害社会工学研究室、平成 24 年 3 月)
http://dsel.ce.gunma-u.ac.jp/owase_tool/index.html